

4. 業績の見通し

当期の業績につきましては、至近の収支動向を踏まえ、平成22年9月28日に公表した業績予想を修正いたしました。

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、販売電力量は、9月の高気温による冷房需要の増加などにより、前回業績予想に比べ1億kWh程度増加し、325億kWh程度となる見通しであります。

また、為替レートにつきましては、至近の円高の状況を踏まえ、10月以降を85円/\$程度として想定いたしました。

このような状況のなかで、売上高は、燃料価格の低下による燃料費調整制度の影響はあるものの、販売電力量の増加などにより、前回業績予想に比べ10億円程度増加する見通しであります。

一方、費用は、販売電力量の増加などによる燃料費の増加はあるものの、燃料価格の低下により、前回業績予想並みとなる見通しであります。

この結果、営業利益および経常利益は、前回業績予想に比べ、それぞれ10億円程度増加する見通しであります。

以上により、当期の売上高は5,660億円程度となり、営業利益は430億円程度、経常利益は290億円程度、当期純利益は100億円程度となる見込みであります。

○ 連結業績見通し

23年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	通	期	
		対前回増減	対前期増減
売上高	566,000	1,000	17,000
営業利益	43,000	1,000	11,000
経常利益	29,000	1,000	11,000
当期純利益	10,000	同程度	3,000
販売電力量	(3.2%程度) 325億kWh程度	1億kWh程度	10億kWh程度

(注) 販売電力量欄上段()内のパーセント表示は、対前期増減率。

○ 単独業績見通し

23年3月期単独業績予想

(単位：百万円)

	通	期	
		対前回増減	対前期増減
売上高	544,000	1,000	17,000
営業利益	38,000	1,000	11,000
経常利益	24,000	1,000	11,000
当期純利益	8,000	同程度	3,000

※ 対前回増減は、平成22年9月28日に公表いたしました業績予想との差を記載しております。

※ 通期の為替レートは平成22年9月公表時の90円/\$程度から88円/\$ (10月以降85円/\$)程度に見直し、原油CIF価格は平成22年9月公表時と同様、80\$/b1 (10月以降80\$/b1)程度として想定しております。